



デジタルウォレット

ARKの研究によると、デジタルウォレット企業のバリュエーションはリテール銀行を上回る見通しであるほか、顧客獲得コストの低いデジタルウォレットは、従来型の銀行には不可能な方法で低所得層にバンキングサービスを提供していくとみられます。

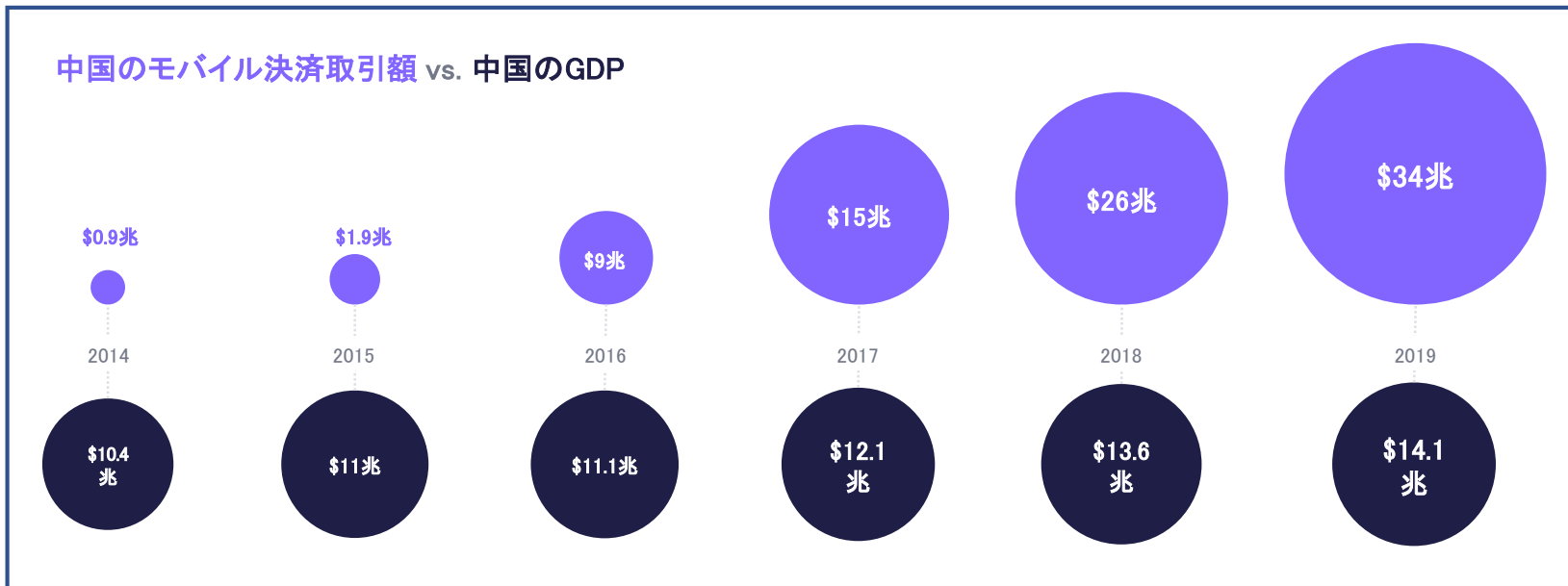
ARKでは、2024年までに米国のデジタルウォレット利用者が2億2,000万人に達すると予測しており、仮にすべての利用者が従来型銀行の顧客生涯価値と同等の価値をもたらすとすると、デジタルウォレットの市場機会は8,000億米ドルを超える可能性があります。





中国のモバイル決済額はGDP規模の2.5倍

中国では、サードパーティー・モバイル決済の取引額が、2014年の対GDP比10%から2019年には同250%に迫るまでに増加し、年平均成長率が107%に達しています。ARKでは、世界のモバイル決済額は、いずれ現在の世界GDP規模である87兆米ドルの数倍に達するとみています。



上記の予測は、限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。

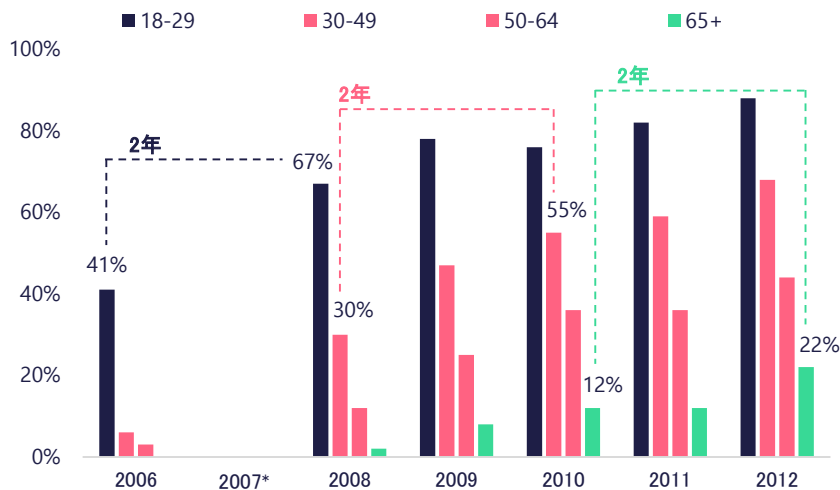
出所: ARK Investment Management LLC, 2019 | ARKによる推定値 | "World Economic Outlook Database, October 2019". IMF.org. International Monetary Fund. 15 October 2019 | "GDP - China". World Bank.org. World Bank. 13 December 2019 | "China's Third-Party Mobile Payment Market Soared 58.4% in 2018". IResearchChina.com iResearch. 6 May 2019



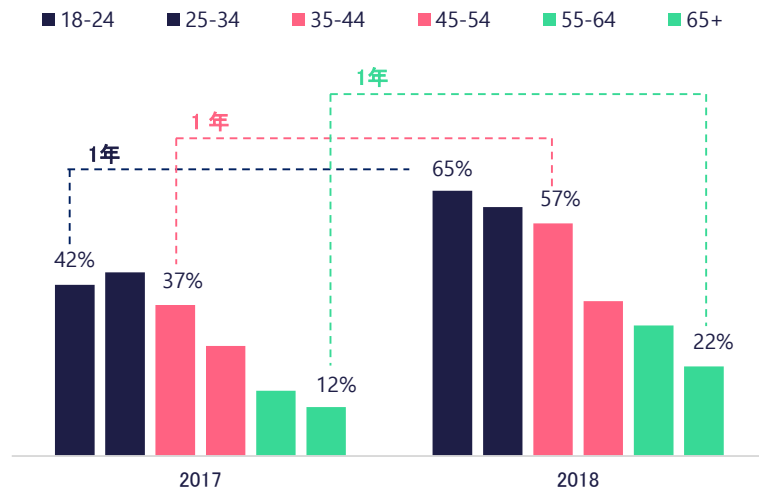
米国では、ソーシャルメディアが普及した2倍の速度でデジタルウォレットが普及

ソーシャルメディアよりも想定されるネットワーク効果により、デジタルウォレットは10年前にソーシャルメディアが要した半分の時間で米国の様々な年齢層に浸透しています。

米国でのソーシャルメディアの普及(年齢層別)
2006~2012年



米国でのピアツーピア決済サービスの普及(年齢層別)
2017~2018年



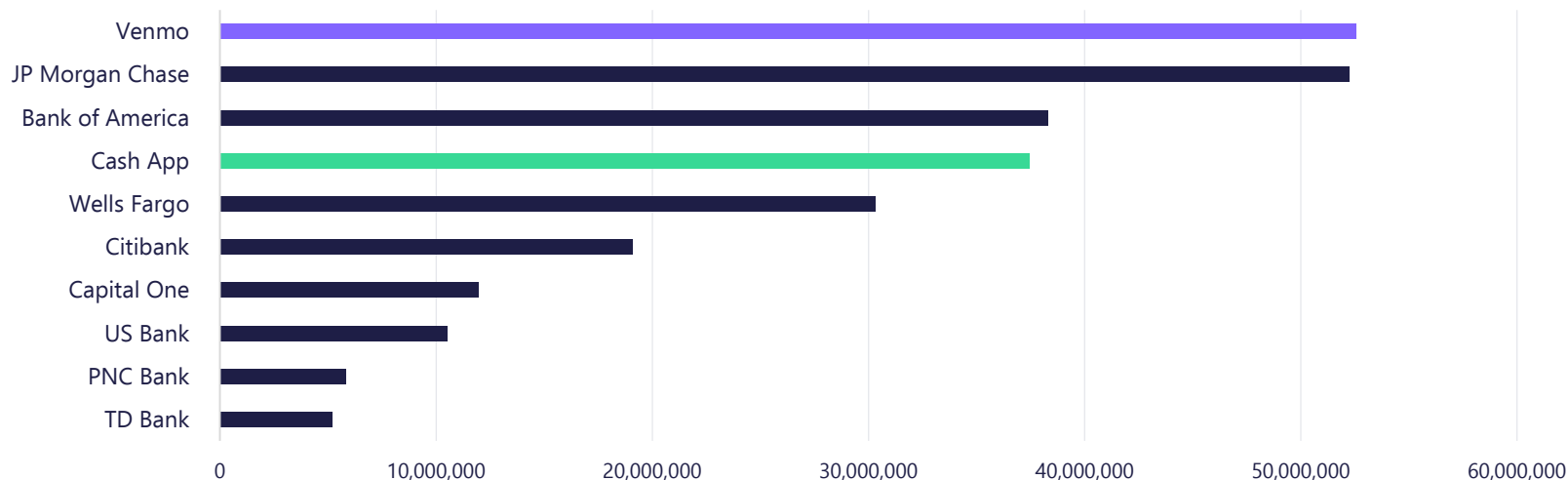
* Pewresearch.orgは、米国での2007年のソーシャルメディア普及率データを公表していません。



Venmoが米国最大の個人向け金融サービスアプリに

ARKの研究によると、PayPalのVenmoは年間アクティブユーザー数が5,200万人を超え、米国最大の個人向け金融サービスアプリとなっています。SquareのCash Appは、JP MorganとBank of Americaに次ぐ第4位となっています。

アクティブ・デジタルユーザー数上位10位の金融機関(2019年)*

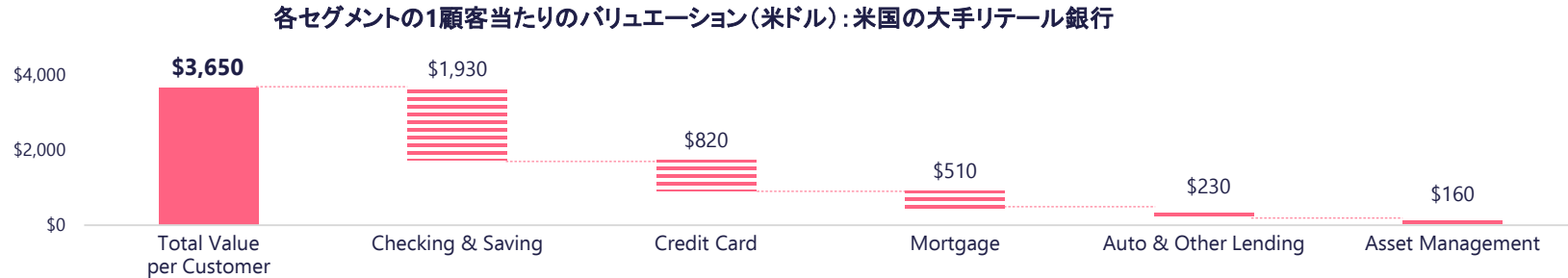
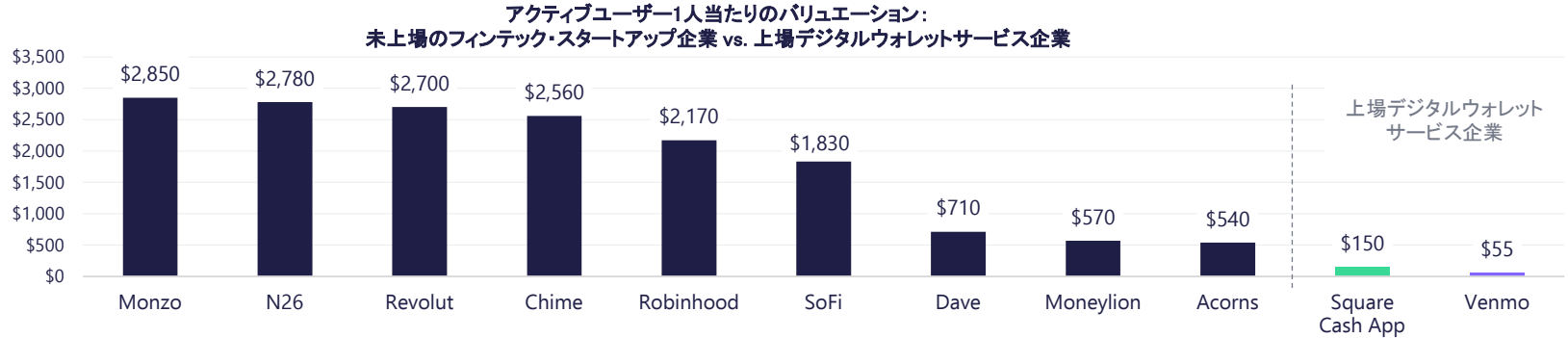


* データ出所: Venmo、Bank of America、Cash App、Citibank、Capital One、US Bank、PNC Bank、TD Bankは年間アクティブユーザー数の推定値、JPMorgan Chase、Wells Fargoは四半期アクティブユーザー数の推定値
個別銘柄について言及していますが、当該銘柄の売買や保有を推奨するものでも、いかなる保証を提供するものでもなく、説明のみを目的としたものです。
出所: ARK Investment Management LLC, 2019 | 各企業情報およびARKIによる推定値



未上場フィンテック企業や銀行に対し 低いバリュエーション評価を受けているデジタルウォレット企業

株式市場では、利用者1人当たりのバリュエーションで比較した場合、Squareなどのデジタルウォレット企業は、未上場のフィンテック企業に比べて大幅なディスカウントで評価されています。ARKでは、デジタルウォレット利用者1人当たりのバリュエーションが、少なくともリテール銀行の1人当たり平均である3,650米ドルで評価されるべきと考えます。



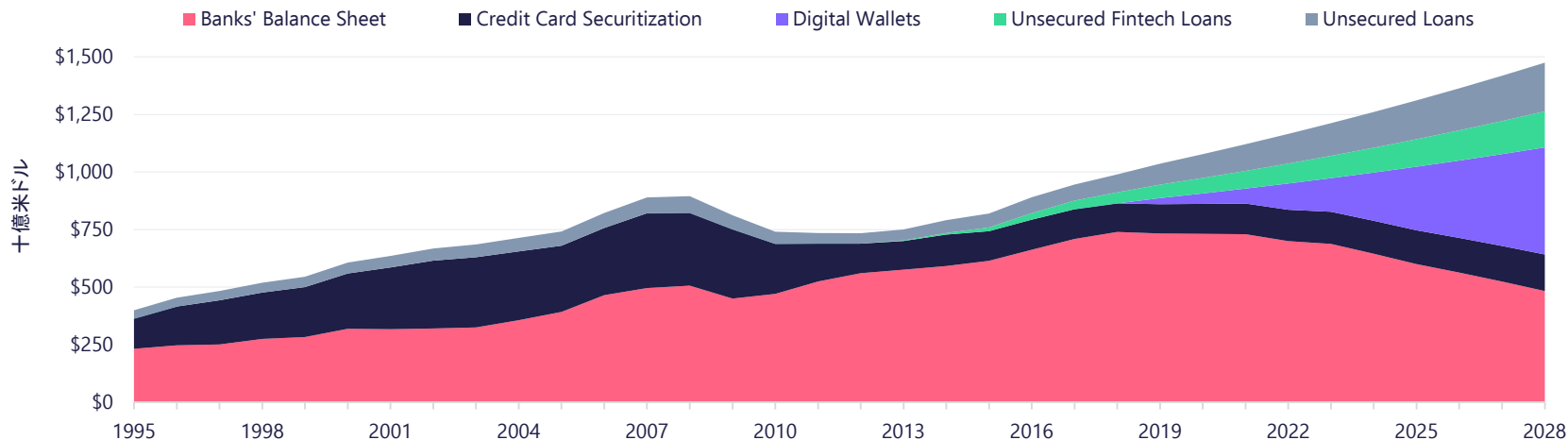
出所：ARK Investment Management LLC, 2019 | 各企業情報、ARKによる試算。Cash AppとVenmoについては、SquareとPayPalの株価売上高倍率(PSR)をCash AppとVenmoの予想売上高に適用し、ARKによる予想MAU(月間アクティブユーザー)で除したものの。未上場のフィンテック企業については、直近の評価額をMAUで除したものの。| 典型的なリテール銀行：JP Morgan Chase、Wells Fargo、US Bank、PNC Bank、Bank of Americaの2018年の年次報告書に基づいてARKが試算。個別銘柄について言及していますが、当該銘柄の売買や保有を推奨するものでも、いかなる保証を提供するものでもなく、説明のみを目的としたものです。



デジタルウォレットは消費者信用市場でのシェアを拡大中

LendingClubやSofiなどのフィンテック企業は、消費者向け無担保ローン市場において39%のシェアを獲得しています。ARKの調査によると、デジタルウォレットの台頭により、銀行のリボルビングクレジットの貸出残高は2018年の7,400億米ドルから2028年には4,830億米ドルまで減少する見通しであり、向こう5～10年間で銀行のクレジットカードによる金利収入は半減するとみられます。

米国の消費者向け無担保ローン残高総額



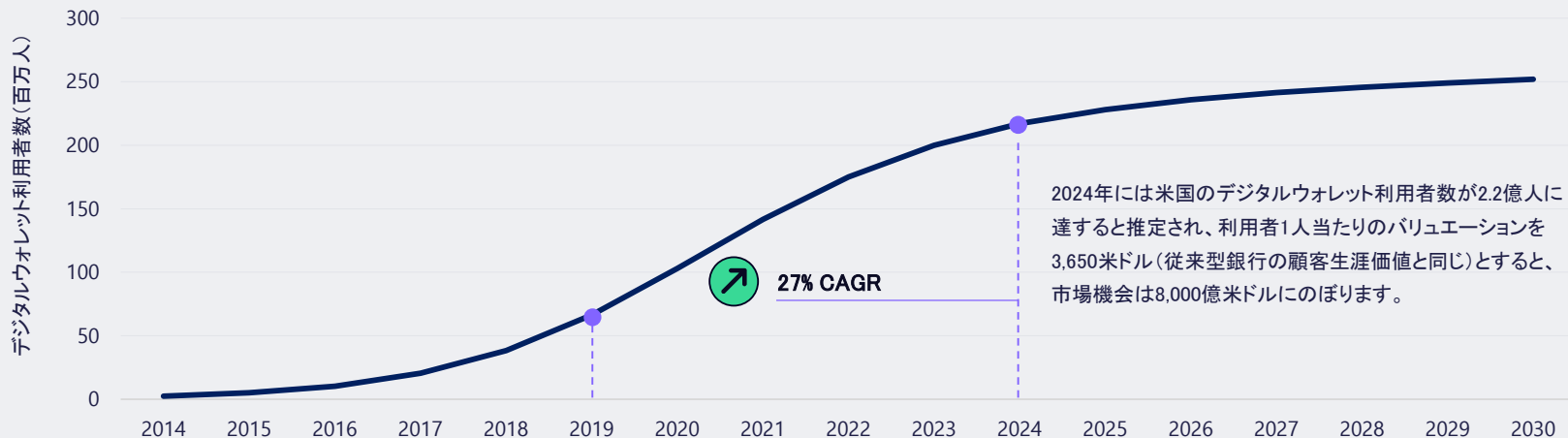


投資機会の規模



米国におけるデジタルウォレットの市場規模は、**2024年には8,000億米ドル**に達し、現在の295億米ドルの27倍に増加する可能性があります。

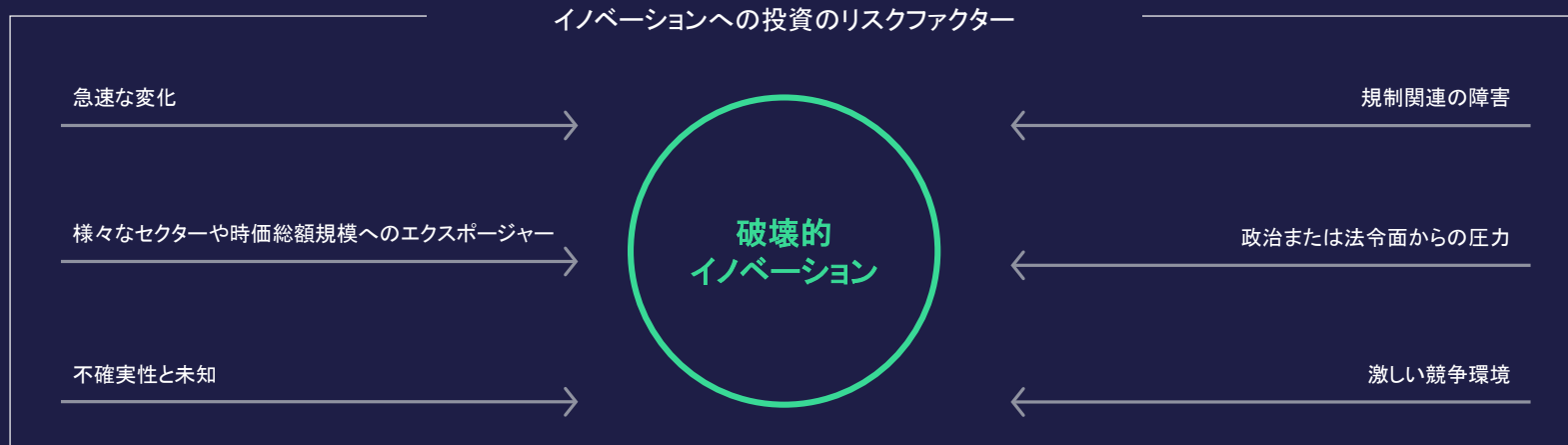
米国のデジタルウォレット利用者数の推移





ディスクロージャー 破壊的イノベーションへの投資のリスク

当該企業が破壊的イノベーションを活用しながら既存の技術に代わるテクノロジーを開発し、新しい市場を創出しているとARKが評価をしていても、それらが事実と異なる場合があります。ARKは、投資家の皆様に破壊的イノベーションに関する情報を紹介するとともに、その潜在的な投資機会の規模を提示することをめざしていますが、リスクおよび不確実性がARKの予測やリサーチモデルに影響を及ぼす可能性がある点にご注意ください。投資家の皆様は、当資料の内容をあくまでも参考情報として扱い、また市場リスク、破壊的イノベーション・リスク、規制リスク、特定のイノベーション分野に関連するリスクにも注意する必要があります。リスクに関するディスクロージャーを入念にお読みください。



→ トップダウンおよびボトムアップのリサーチを組み合わせ、テクノロジーについてのセクター横断的な理解をめざす

→ 規制、市場、セクターおよび個別企業リスクの理解をめざす（最終ページの「ディスクロージャー」をご参照ください。）



ディスクロージャー



BIG IDEAS 2020

破壊的イノベーションに関するより詳細なリサーチはark-invest.com/researchをご覧ください。

©2020, ARK Investment Management LLC. No part of this material may be reproduced in any form, or referred to in any other publication, without the express written permission of ARK Investment Management LLC (“ARK”).

破壊的イノベーションを活用し、従来のテクノロジーに取って代わる技術、または今後新しい市場を創出し得る技術を開発しているとARKが考えている企業は、競合他社、業界団体、または地方政府および中央政府からの政治的または法的攻撃を受ける可能性があることをご承知おきください。

ARKは各種のリスクと不確実性が当社の予測と研究モデルに影響を与える可能性があることは承知の上で、投資家を教育し、破壊的イノベーションの潜在的な可能性を拡張することを目指しております。投資家は、市場リスク、破壊的イノベーションリスク、規制リスク、並びに、ディープラーニング、デジタルウォレット、バッテリーテクノロジー、自動運転技術、ドローン、DNAシーケンス、CRISPR、ロボット工学、3Dプリンティング、ビットコイン、ブロックチェーンテクノロジー等に関連する各種のリスクに留意の上、情報提供のみを目的として掲載された当該コンテンツを使用してください。

当資料は情報提供を目的として作成した資料であり、予告なく変更されることがあります。当資料は明示的にも黙示的にもARKによるサービスや商品の勧誘資料ではないため、投資者の皆様は、特定のサービスがご自身のニーズに適しているか等について、弁護士、その他投資専門家に相談されることを推奨します。当資料内の企業および証券についてのすべての記載内容は、ARKの見解に基づくものであり、ARKによる個別企業・サービスの推奨、またはARKによる証券の売買または保有の推奨ではありません。記載されている過去の実績は将来の運用成果等を約束するものではありません。当資料には、将来の業績に関する記述やその他将来に関する記述が含まれている場合がありますが、これらの記述は当資料作成時点のARKの見解や過程に基づいたものであり、既知または未知のリスクや不確実性が含まれています。従って、実際の業績、事象などは記載されているものと大きく異なる可能性があります。ARKが米国証券取引委員会に提出する届出書には、当資料に掲載されている以外のリスクや不確実性が必要に応じて含まれている場合があります。ARKは当資料に含まれる将来に関する情報を更新する義務を負いません。当資料の情報はARKが信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、第三者から入手した情報の正確性・完全性を保証するものではありません。ARKおよびその顧客並びに関係者は、記載された証券または発行体に対して金銭的利益関係を有している場合があります。

ARK Investment Management LLC

3 E 28th Street, 7th Floor, New York, NY 10016

ark@ark-invest.com

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「ARKのBIG IDEAS 2020」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 個別銘柄について言及していますが、当該銘柄の売買や保有を推奨するものではなく、当社ファンドにおける現時点での保有の有無、ならびに将来の組入れもしくは売却を示唆するものでもありません。